

# アクアタイザーQZ-240が グッドデザイン賞を受賞!



受賞対象名：ベッド型マッサージ器 アクアタイザー QZ-240  
 事業主体名：ミナト医科学株式会社  
 カテゴリー：C1-1. 研究・教育・医療のための機器・設備  
 受賞企業：ミナト医科学株式会社 (大阪府)

今年6月にミナト医科学からデビューしたウォーター  
 マッサージベッド「アクアタイザーQZ-240」が、  
 2012年度のグッドデザイン賞を受賞しました。  
 全体のフォルムやカラーリングなど徹底したやさしい  
 デザインに加え、2+2ノズルや足部エアバッグなど  
 患者様がリラックスできる設計が高く評価されての  
 快挙です。

# ミナト 医科学 新聞

発行所 ミナト医科学株式会社  
 〒532-0025  
 大阪府淀川区新北野3丁目13番11号  
<http://www.minato-med.co.jp/>

# 号外

やさしさと医療を追求する...  
**MINATO**  
 実際に「見て」「触れて」「体感できる」  
**ミナト医科学のショールーム**  
 へ、ぜひお越し下さい。



※全国17カ所の営業所内  
 ※予約制

## 暮らしや社会を豊かにするデザイン

グッドデザイン賞と、Gマークの認知率は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する推奨制度で、暮らしや産業、社会を豊かにする「よいデザイン」に対して授与されます。1957年に通商産業省(現・経済産業省)が始めた「グッドデザイン商品選定制度(通称Gマーク制度)」から数えて55年の実績がある。

公共領域で3ユニットなどそれぞれの分野に分かれて審査が行われました。

「アクアタイザーQZ-240」が受賞したのは、このうちの公共領域のユニット「医療・研究機器のデザイン」の中の「C1-1. 研究・教育・医療のための機器・設備」というカテゴリーです。

## 患者様と医療スタッフにやさしいデザイン

応募の際にミナト医科学がアピールしたのは、第一に流線形の未来的なデザイン。「ウォーターベッドの特長として、乗らなかつた上での移動にはデメリットもある。頭側から足元まで設置された一体型手すりや器械上での移動や乗り降りのしやすさを提供する。」

ある軟らかいベッド面は、乗り降りやベッド上での移動にはデメリットにもなる。アクアタイザーQZ-240は、頭側から足元まで一体型手すりを設置することでベッド上での移動や乗り降りがしやすいと強調しました。

プロデューサー	ミナト医科学株式会社 中央研究所 研究課 主幹研究員 荻野直人
ディレクター	ミナト医科学株式会社 中央研究所 研究課 川崎彰
デザイナー	サカキデザインスタジオ 榊原学
デザインについて	「身体・人間」の視点からみて、応募対象が提供できること：ウォーターベッドの特長である軟らかいベッド面は乗り降りやベッド上での移動にはデメリットもある。頭側から足元まで設置された一体型手すりや器械上での移動や乗り降りのしやすさを提供する。 「生活」の視点からみて、応募対象が提供できること：2+2ノズルによるワイド噴流と揺れを抑える足部エアバッグが質の高いマッサージを提供する。 「産業」の視点からみて、応募対象が提供できること：高い集患効果によって、商品を導入した施設の経営に貢献する。 「社会・環境」の視点からみて、応募対象が提供できること：操作パネルの向きを360度好きな方向に設定できるため、設置場所の自由度が高い。施設における理想的な機器レイアウト実現に貢献する。
ユーザー・社会に伝えたいこと	今回の受賞を通じて、ウォーターベッド型マッサージ器の存在をぜひ知っていただければと思います。多くの方々QZ-240の想像以上の気持ち良さを体験していただくことを願っています。
どこで購入できるか、どこで見られるか	全国の医療機関等

## 審査委員コメント

エアバッグによるフットマッサージや身体測定センサーによる制御等、長い経験からのリラックス性のポイントが各所に集大成され、高密度な完成度の高さを感じさせられる治療機といえよう。身体全体を包み込む配置のノズル設計による、心地よさは素晴らしく、今後医療機などが学ぶべき所も多いだろう。ベッドサイドの凹部に設けられた、起き上がり用グリップも機能的威圧感をなくす配慮となっている。凹凸の少ないシンプルデザインやカラーリング等、徹底したやさしさの為にデザインが、高く評価された。

## 審査委員 (ユニット13 医療・研究機器のデザイン)

ユニット長	山村 真一	インダストリアルデザイナー
	國澤 好衛	プロダクトデザイナー
	馬場 了	インダストリアルデザイナー
	村上 存	工学研究者
	山本 秀夫	プロダクトデザイナー

## 2年連続3回目の受賞

これに対して、グッドデザインの審査委員からは、デザインについて「凹凸の少ないシンプルデザインやカラーリング等、徹底したやさしさの為にデザイン」のコメントをいただきました。また、2+2ノズルについては「心地よさは素晴らしい。今後医療機などが学ぶべき所も多いだろう」と高く評価されました。

さらに、足部エアバッグなどについても「長い経験からのリラックス性のポイントが各所に集大成され、高密度な完成度の高さを感じさせられる治療機」との評価を受けました。

「医療機器のデザインには見た目のハードさを和らげ、診療への抵抗感や不安を軽減することが求められているのではないかと、あるいは「機器のデザインによってやさしい医療」が実現できるのではないかと、という発想から、医療機器のデザインを重視して開発を進めてきました。それが2年連続3回受賞という結果につながったと考えています。

「アクアタイザーQZ-240」がGマークを獲得したことによって、今後ウォーターマッサージベッドに対する注目度が高まり、多くの患者様がその快適な治療感を体験されることになるのではないかと期待しています。

ベッドの本体サイズは229cm×82cmとコンパクトながら広いシート面を確保すると同時に、高さを50cmと低く抑えて患者様にやさしい設計としています。

また、治療におけるアピールポイントとしては「2+2ノズルによるワイド噴流と揺れを抑える足部エアバッグが質の高いマッサージを可能にする」と強調。マッサージ部位やパターンによってノズルの数を切り替えることで多彩な治療を提供できることが大きな特長です。また、足部エアバッグは脚が開くことを防いで最適な脚位置を保持します。

さらに、「センサーによって身長を自動的に計測する機能が医療スタッフの手間を軽減させる」ともアピール。これまでのウォーターマッサージベッドのように、個別に身長を設定する必要がないように、足部エアバッグの搭載によって5kgもの重さをセッティングする必要もなく、医療スタッフの負担が大きく軽減されます。



# GOOD DESIGN

